



ガバナー月信

vol.10 Apr / 2026



月信4月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② ライラ研修
- ③ 米山記念奨学生終了式・歓送会
- ④ ローターアクト地区大会
- ⑤ 嘉儀和平RCとの姉妹クラブ締結
- ⑥ 財団委員会通信
- ⑦ 地区主要行事予定 (4月・5月)
- ⑧ 新入会員紹介・訃報
- ⑨ コーディネーターニュース
- ⑩ ハイライトよねやま

Rotary
第2560地区



よいことの
ために
手を取りあおう

国際ロータリー第 2560 地区
2025-26 年度

室賀ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナーメッセージ

2025-26 年度ガバナー

室賀 信宏 (白根 RC)

皆様こんにちは！

一雨ごとに暖かくなり桜の便りも聞こえてくるこの頃ですが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

さて、去る3月13・14日に台湾嘉義市にて執り行われましたRID3470地区大会にパートナーと共に参加してまいりました。海外での地区大会参加は私にとっては初めての経験で、あらためて2560地区大会との違いを経験させていただきました。国内の他地区大会と比べても台湾の地区大会はかなり華やかな演出でした。参加されておりましたロータリアン達はご家族ともどもお祭り気分を満喫されておりました。また、大会最後には抽選会が行われ、豪華賞品も抽選でもらえることもあり、途中でメンバーが帰らないような工夫もされておりました。

そして、3月16日台湾嘉義市の樂億皇家渡假酒店（Look Royal Resort）において、嘉義和平ロータリークラブと糸魚川中央ロータリークラブとの姉妹クラブの締結調印式がとり行われ、式典に参加してまいりました。2560地区内で海外との姉妹・友好クラブができるのは本当に久しぶりということもあり、私にとって大きな喜びとなりました。両クラブが日本と台湾の友好を深めるとともに、お互いに手を取りあいよいことのために奉仕活動を推進されることを祈念しております。

また、今年度の国際大会は台湾台北で開催されます。2560地区内からも多くのロータリアンがご参加される予定となっており、世界中のロータリアンと交流することを期待しております。ご参加されるロータリアンが大会で素晴らしいインスピレーションを得ることも期待しております。





ライラ研修を終えて

ライラ委員会
委員長

広井 充 (小千谷 RC)

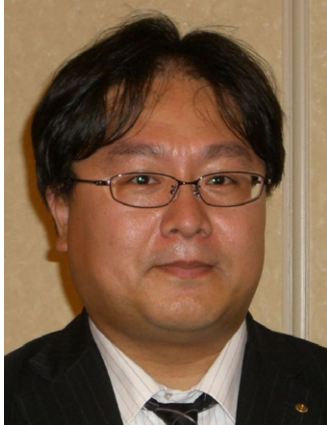
この度、国際ロータリー第2560地区2025-26年度第24回ライラ研修会（ロータリー青少年指導者育成プログラム）を、小千谷ロータリークラブをホストクラブとして開催させていただきました。室賀ガバナーをはじめとする地区役員の皆様、多くのロータリアン、参加していただきました研修生の皆様に地区委員長として大変感謝申し上げます。

今回のテーマは「これからの雪との関わり方」とさせていただき、十日町市のベルナティオにて、1泊2日のプログラムを組ませていただきました。1日目の講師は元フリースタイル・モーグル代表の上村愛子氏から、20年にもわたるオリンピックを通じた体験談やその後の人生に対する向き合い方をフリートークにより学びました。2日目はスノーエンジニアの伊藤親臣氏から、雪の有効利用による様々な工夫を経済的な視野から学んでいただきました。

ライラ研修は地域の青少年指導者にふさわしい人物となれるよう学ぶ研修プログラムですが、ロータリーの真の目的は親睦であります。ベルナティオにおいて1泊2日の温泉旅行を楽しんでいただき、研修生だけでなくロータリアンも親睦が深められたようでした。最後に、この3年間、本当に長かったです。







米山記念奨学生終了式・歓送会

米山記念奨学委員会
奨学生・学友委員会
委員

高橋 正彦 (新潟北 RC)

3月7日 土曜日に新潟市内のホテルイタリア軒にて 2025-26 年度米山記念奨学生終了式・歓送会が開催されました。

3月をもって終了する 15 名、6月・9月をもって終了する 4 名の奨学生 ひとりひとりに室賀信宏ガバナーより終了証書が授与されました。またカウンセラーには感謝状が授与されました。カウンセラーを代表して新発田 RC の池田昌祥様、渡邊嘉子米山記念奨学委員長から奨学生へ暖かいエールをいただき和やかな雰囲気の中で無事終了式を終えることが出来ました。

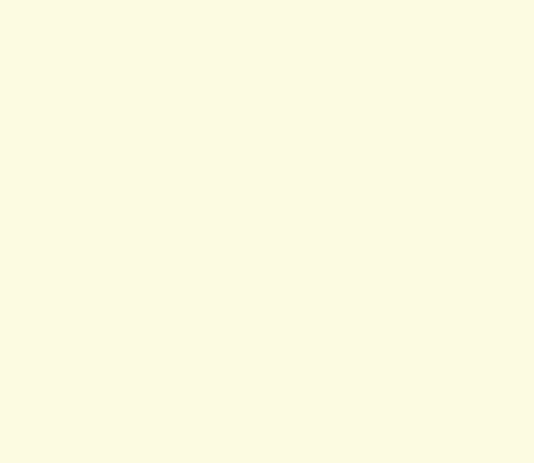
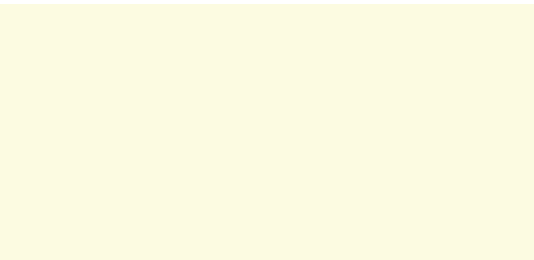
終了式に続き歓送会では出席した奨学生から一人ずつスピーチをしていただきました。世話クラブやカウンセラーへの感謝の気持ち、奨学生になれた事で経験できた事や思い出、今後の活動の抱負等を語ってくれました。

米山記念奨学生は米山学友になり、いずれロータリアン仲間として「日本と母国（世界）の架け橋」となります。今後の活躍が楽しみです。

結びに日頃より米山記念奨学事業へのご支援に感謝申し上げますと共に、末永くこの事業が継続できるようにロータリアンの皆様からの益々のご支援ご協力を宜しくお願いいたします。









ローターアクト第56回地区大会 「One up」

地区ローターアクト委員会
委員長

近藤 正明 (長岡東 RC)

皆様におかれましては、日頃より地区ローターアクト委員会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年3月14日、ホテルイタリア軒にて開催された「国際ロータリー第2560地区ローターアクト第56回地区大会」に出席いたしました。本大会は「One up」をテーマに掲げ、ローターアクト一人ひとりが新たな一歩を踏み出し、さらなる成長や挑戦につなげていくことを目的として開催されました。

当日は新潟市長 中原八一様をはじめ、地区内外より多くのローターアクト、OBOG、ロータリアンが集い、式典、活動報告、ポスターセッション、パネルディスカッションなどを通じて、各クラブの活動や想いを共有する貴重な機会となりました。特に、日頃の奉仕活動やクラブ運営の取り組みを発表する場では、若い世代の柔軟な発想や行動力を感じることができ、地区の未来に大きな可能性を感じました。

現在、第2560地区のローターアクトは9クラブ65名と決して大きな組織ではありませんが、地域社会への奉仕や仲間との学びを通じて、確実にその存在価値を高めています。本大会での交流や学びが、各クラブの活動のさらなる発展につながり、次代を担うリーダーの育成へと結びつくことを強く期待しております。

ローターアクト委員会としても、ローターアクトの挑戦を後押しし、ロータリーとの連携を深めながら、地区全体の活動がより充実したものとなるよう努めてまいります。本大会が、参加された皆様にとって新たな一歩を踏み出す契機となり、ローターアクトの未来を切り拓く力となることを心より願っております。





嘉儀和平ロータリークラブとの 姉妹クラブ締結についてのご報告

糸魚川中央ロータリークラブ
会長
齊藤 孝之

2026年3月16日(月)、台湾嘉儀市の樂億皇家渡假酒店(Look Royal Resort)において、嘉儀和平ロータリークラブとの姉妹クラブの締結調印式が執り行われました。お忙しい中、室賀信宏ガバナーご夫妻をはじめ、嘉儀市の各クラブの会長、皆様にご参加いただき、感謝申し上げます。

昨年10月23日に室賀信宏ガバナーのご紹介で、嘉儀和平ロータリークラブの会長馮茂倉(Dentist)と会員ご家族5名が来日されました。10月24日には、糸魚川中央ロータリークラブの例会に参加、10月25日には第2560地区2025-26地区大会1日目に参加いただき、糸魚川中央ロータリークラブ会員との交流を深めました。

心配した言葉の問題ですが、日本に留学の経験がある会員やご家族がおられ、親日家の方が多くそれほど困らない事が分かりました。

12月の理事会の中でも、慎重審議し全会一致で姉妹クラブ締結についての承認が得られ、急ピッチで締結に向け準備が進められました。

調印式当日は、スポンサークラブの民雄クラブを含む嘉儀市7クラブの合同例会が開催され、嘉儀和平ロータリークラブ、嘉義南区クラブ、嘉義北区クラブ、嘉義東区クラブ、嘉義東北クラブ、嘉義北回クラブ、嘉義レインボークラブが出席されました。

その後、嘉義和平ロータリークラブの2周年記念式典が執り行われました。主催者の会長馮茂倉(Dentist)、黄敏恵嘉義市長をはじめロータリアンとそのご家族200名ほどの出席者と、室賀信宏ガバナーご夫妻、糸魚川中央ロータリークラブからは森田英ガバナーノミニ、神谷勇一青少年交換委員会委員長も出席され、嘉儀和平ロータリークラブとの姉妹クラブ締結の調印式が無事執り行われ、心より関係各位の方々に心から感謝しております。

渡航日程は、調印式の前日に小松空港から出発し桃園国際空港に到着しました。桃園から嘉儀まで新幹線で1時間ちょっとで到着し、日本の新幹線技術が導入されており快適な乗り心地と高い安全性が感じられました。

嘉義市は台湾西南部の嘉南平原北端に位置し、北緯23度26分21秒の北回帰線が市内南部を横

断しており、今回は比較的過ごしやすかったのですが、夏至の日には相当の暑さになると思われます。

また、阿里山の観光拠点として、阿里山森林鉄道の出発地点となっており、1,800メートル以上になると樹齢1000年を超える台湾ヒノキが自生しており、靖国神社の神門や檀原神宮の神門と外拝殿、東大寺大仏殿の垂木など、日本の多くの神社仏閣に阿里山の台湾ヒノキが使われているとの事でした。

調印式当日は、お昼に香港式飲茶をご馳走になり、午後から北回帰線の公園観光と九華山地蔵庵という仏教のお寺で旅の安全と、調印式の締結祈願をしてきました。

2周年記念式典と姉妹クラブの調印式後は懇親会となり、大勢の台湾のロータリアンとおいしい台湾料理を囲みながら交流を深めました。唯一心苦しかったのは、乾杯がその名の通り、グラスを乾かすくらい空にしないと注意されることです。今回はすぐに帰国しなければならず、全ての方々のお相手をする事が出来ませんでした。お許してください。

懇親会後は、最終列車の一本前の新幹線に飛び乗り桃園国際空港に向かい、空港で仮眠をして、翌朝の小松空港行で帰国し、午後には会社で仕事をすることが出来ました。

1泊3日の強行日程でしたが、姉妹クラブの調印式という貴重な体験をさせていただきました。

海外クラブとの姉妹クラブ締結には、いろいろなお意見やご負担があると思いますが、それ以上に得られる経験や感動があると思えました。姉妹クラブが末永く続くように今後も交流を深めていきたいと思えます。







「世界でよいことをしよう」

財団委員会通信

ロータリー平和センター Rotary Peace Centers

ロータリー平和センタープログラムは世界理解と平和という財団の使命を達成するため最優先されるプログラムです。ポール・ハリス没後50年と財団の教育プログラム創設50周年を記念して、ロータリー・ポール・ハリス・センターの設立計画を立てました。2000年10月の財団管理委員会により、「紛争の解決と平和における国際問題研究のためのロータリーセンター」と名称を変え、さらに2005年2月には、世界平和奨学金（World Peace Scholarship）の名称が世界平和フェローシップ（World Peace Fellowship）、2009年には「ロータリー平和センター/ロータリー平和フェローシップ」に改正されました。

世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。現在、毎年、世界中から選ばれる最高130人のフェローが、7つのロータリー平和センター（8つの提携大学）のいずれかで学んでいます。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費（宿泊・食費）、往復航空券、インターンシップと実地体験の費用が含まれます。

国際関係、平和研究、紛争解決や関連分野での修士号取得（50名、15～24ヶ月、実践スキルを身につけるため、2～3ヶ月間の実地体験に参加）、または、専門能力開発終了証取得（80名、タイとウガンダのロータリー平和センターにおける、オンライン学習、対面式の授業、個別プロジェクトを合わせた職業人のための1年間のプログラム）があります。

この目標を達成するため、ロータリーは世界の名門大学と提携しました。学術研究、実地研修、世界的なネットワークを構築する機会を提供することによって、未来の平和構築者を育てるのが、このプログラムです。

【ロータリー平和センターのある大学】

- ・デューク大学およびノースカロライナ大学 チャペルヒル校
（合同で一つの平和センターを運営。米国、ノースカロライナ州）
- ・国際基督教大学（日本、東京）
- ・ブラッドフォード大学（英国、ブラッドフォード）
- ・クイーンズランド大学（オーストラリア、ブリズベン）
- ・ウプサラ大学（スウェーデン、ウプサラ）
- ・マケレレ大学（ウガンダ、カンパラ）
- ・チュラロンコーン大学（タイ、バンコク）

2002年ロータリー平和センター開設以来、115カ国以上から1,500人を超えるフェローが平和センターを卒業し、現在、政府、NGO、教育・研究、軍、警察、メディアや芸術、または国連などの国際機関で活躍しています。

第 2560 地区 2025-26 年度 2 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2025年 7月1日	2月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)	/	-	378	380	46	2
新発田	3	31.2%	90	93	2	3
村上	4	23.7%	38	38	8	0
水原	3	31.4%	34	35	3	1
中条	3	100.0%	48	48	3	0
新発田城南	3	27.0%	38	37	5	-1
豊栄	3	33.3%	21	20	2	-1
新発田中央	4	22.7%	44	44	5	0
中条胎内	3	51.3%	39	39	11	0
村上岩船	4	26.9%	26	26	7	0
第2分区 (9クラブ)	/	-	453	480	39	27
新潟	4	34.2%	74	79	3	5
新潟東	4	16.9%	66	77	12	11
新潟南	3	37.4%	114	115	9	1
佐渡	3	66.7%	3	3	0	0
新潟西	4	66.7%	53	55	4	2
佐渡南	3	11.1%	43	45	4	2
新潟北	3	28.6%	37	42	1	5
新潟中央	3	37.0%	24	27	1	3
新潟万代	2	56.8%	39	37	5	-2
第3分区 (5クラブ)	/	-	97	101	10	4
新津	3	56.3%	16	16	1	0
村松	4	61.9%	19	21	2	2
白根	4	29.4%	32	34	2	2
新津中央	4	42.3%	25	25	5	0
阿賀野川ライン	3	60.0%	5	5	0	0
第4分区 (11クラブ)	/	-	343	342	33	-1
三条	3	17.9%	54	56	1	2
燕	4	18.4%	41	38	3	-3
加茂	3	14.8%	27	27	4	0
三条南	3	25.6%	38	39	3	1
分水	4	61.1%	33	36	6	3
見附	3	10.0%	20	20	1	0
吉田	3	0.0%	23	22	3	-1
三条北	3	22.2%	46	45	4	-1
巻	3	9.5%	22	21	2	-1
田上あじさい	禰	16.7%	5	5	2	0
三条東	3	27.3%	34	33	4	-1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2025年 7月1日	2月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)	/	-	283	298	30	15
長岡	2	58.0%	43	50	5	7
柏崎	3	62.5%	45	48	0	3
長岡東	3	31.7%	57	60	7	3
柏崎東	3	19.5%	38	41	4	3
栃尾	4	50.0%	19	18	1	-1
長岡西	3	25.0%	46	44	3	-2
柏崎中央	2	27.0%	35	37	10	2
第6分区 (6クラブ)	/	-	117	123	14	6
十日町	3	28.2%	38	39	8	1
小千谷	3	17.2%	25	29	3	4
雪国魚沼	3	72.0%	25	25	2	0
十日町北	2	0.0%	9	11	1	2
津南	4	36.4%	12	11	0	-1
越後魚沼	3	50.0%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)	/	-	305	317	23	12
高田	2	37.3%	63	66	3	3
直江津	2	32.1%	74	77	7	3
新井妙高	2	47.4%	36	38	1	2
糸魚川	4	95.3%	45	43	3	-2
高田東	2	51.6%	30	31	2	1
糸魚川中央	3	58.8%	30	34	3	4
越後春日山	3	82.1%	27	28	4	1

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,976 人
2月末会員数	2,041 人
女性会員数	195 人
純増減会員数	65 人
My Rotaryアカウント登録率	38.1 %

地区主要行事予定

2026年3月23日現在

年 月 日		行 事	会 場		
2026年 (R8) 室賀年度	4月	環境月間			
		4	(土)	米山・ロータリー財団合同メジャードナー感謝の集い	ホテルイタリア軒
		4	(土)	台湾国際大会旅行説明会(第3分区)	ホテルイタリア軒
		7	(火)	第2回 2025-26年度RAIS (地区RA代表エレクトラーニングセミナー)	オンライン
		11	(土)	吉田RC創立40周年記念式典	燕三条ワシントンホテル
		11	(土)	第18回全国RYLA研究会 大分会議	D2720大分市 J:COMホルトホール大分
		18	(土)	三条北RC創立40周年記念式典	ジオ・ワールドVIP
		18	(土)	ローターアクトエレクトセミナー	燕三条地場産業振興センター リサーチコア
		19	(日)	第3回青少年交換派遣学生オリエンテーション	ホテルオークラ新潟
		25~27	(土~日)	インターアクト国際交流事業	長岡グランドホテル他
		25	(土)	クラブサポートミーティング	ANAクラウンプラザホテル新潟/ZOOM
		25	(土)	米山カウンセラーオリエンテーション	ANAクラウンプラザホテル新潟
		25	(土)	米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		25	(土)	台湾国際大会旅行説明会(地区ツアー)	ホテルイタリア軒
		25~26	(土~月)	第38回全国ローターアクト研修会	東京都
		26	(日)	2025-26年度第2回ガバナーノミニー・ラーニングセミナー(GNLS #2)	パシフィコ横浜 会議センター
		27~28	(月~火)	(全国)クラブ活性化セミナー 2026	パシフィコ横浜 会議センター
		28	(火)	第3回ガバナー会議	パシフィコ横浜 会議センター
	28	(火)	G・GE・GN情報交流会/組織連携委員会	パシフィコ横浜 会議センター	
	28	(火)	2025-26年度ガバナーノミニー・デジグネートセミナー	パシフィコ横浜 会議センター	
	5月	青少年奉仕月間			
		9	(土)	三条東RC創立20周年記念式典	ジオ・ワールドVIP
		10	(日)	ベーシックラーニング	長岡市社会福祉センター トモシア
		16	(土)	十日町RC創立70周年記念式典	ホテルベルナティオ
		16~17	(土~日)	ローターアクト地区協議会	ホテル日航新潟 Befcolばかうけ展望室
		23	(土)	富山年度 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー(旧:地区研修・協議会)	NASPAニューオータニ
		28~29	(木~金)	青少年交換学生 九州研修旅行	福岡県
		29~30	(金~土)	山の会	国上山(燕市)
29~31		(金~日)	全国青少年交換研究会	福岡県	
30		(土)	防減災セミナー	長岡市	

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
直江津	本永 晃弘	2024.09.01	(株)INPEX JAPAN	直江津LNG基地所長	石油鉱業
直江津	倉澤 晃永	2025.04.01	コマツカスタマーサポート(株)東京関越カンパニー	支店長	建設機器販売
直江津	岡田 英樹	2025.06.20	(株)八十二銀行直江津支店	支店長	銀行業
直江津	山岸 正樹	2025.07.01	(株)富士産業	代表取締役	管工事業
直江津	小嶋 宏志	2025.08.19	(株)山仙	専務取締役	内装業
直江津	渡邊 章	2025.08.19	(株)渡辺板金	代表取締役	建築板金業
直江津	杉木 直人	2025.10.01	平安セレモニー(株)	総務部部长 執行役員	冠婚葬祭業
直江津	金川 正樹	2025.10.07	(株)富山第一銀行直江津支店	支店長	銀行業
直江津	倉嶋 康文	2025.11.11	(株)マキタ創建	代表取締役	解体業
直江津	今川 千賀子	2025.11.11	スナック花園	代表	飲食業
十日町	星名 大輔	2026.02.05	(株)クローバフォー	取締役	青果物卸売業
新潟北	小川 正和	2026.02.09	生わらび餅 新雪	代表	菓子製造・販売
新潟中央	斉晶晶	2026.02.17	石山商事合同会社	代表社員	解体業
新潟	後藤 正喜	2026.03.17	(株)JTB	新潟支店支店長	旅行業

【訃報】 ご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
直江津	嶋津 茂晴	2025.12.16	島津工業(株)	代表取締役社長	管工事業	2016-17年度会長



第1地域 行動計画推進リーダー 菅原 裕典（仙台泉 RC）

私は第1地域 行動計画推進リーダー（APC）として、各地区、クラブまでロータリーの「行動計画（Action Plan）」を浸透させるべく携わってまいりました。本稿では、行動計画を各クラブ単位まで確実に浸透させるサポートをするための「クラブサポートミーティング」について触れてみたいと思います。

ここ数年で社会環境や会員の価値観は大きく変化しました。コロナ禍を経て、例会の形態、参加動機、奉仕のあり方が多様化しています。国際ロータリーが掲げる「より大きなインパクトをもたらす」は、単なる会員数の増加だけでは達成できません。

継続性・適応力・包摂性を兼ね備えたクラブ運営が求められており、クラブサポートミーティングは各クラブの運営や課題を支援したり、具体的に相談したりする定期開催の会合です。



クラブサポートミーティングには、大きく分けて3つの目的があります。

1. 現状把握と課題共有

会員数、維持率、出席率、プロジェクト数などの定量データと、参加意欲や満足度といった定性情報を可視化します。

2. 戦略的支援の提供

単発の助言に留まらず、3年目標（3-Year Rolling Goals）など中長期の視点でクラブの成長計画を共に描き、年次レビューで柔軟に修正します。

3. 成功事例の横展開とリソース連携

有効な施策を他クラブへ展開し、人的・物的リソースを最適に配分することで、地域全体のインパクトを高めます。これらを通じて、地区・地域組織は「数字だけを追う管理者」ではなく、クラブの伴走者として機能することが期待されます。

次に、ミーティングで扱うべき具体テーマと進め方についてまとめてみましょう。

● ベースラインデータの確認

会員数、維持率、出席率、プロジェクト数、参加者属性を共有し、クラブごとの現状を共通認識にします。

● 3年ローリング目標の策定支援

会長、会長エレクト、会長ノミニニーを交え、定量的な3年目標と年次KPIを設定します。

● パイロット施策の設計と評価

小規模で試行し、データと参加者フィードバックで改善するサイクルを回します。

● 若手・多様層の参加促進

衛星クラブやローターアクトとの連携、柔軟な例会形態の導入など、包摂性を高める具体策を検討します。

● 広報と可視化

成功事例を地域内外に発信し、参加機会を増やすための広報支援を行います。

運営のポイントとしては、事前に簡潔なデータシートを配布し、ミーティングは「診断→提案→合意→実行計画」の流れで進めることです。年次レビューの結果は次年度計画に必ず反映させることが重要です。

既存クラブの文化や価値観を短期間で変えることは容易ではありません。そこで、衛星クラブやローターアクトクラブの創設は、包摂性を実現する有力な手段です。若年層や多様な背景を持つメンバーを受け入れ、彼らの力で地域課題に取り組んでもらうことで、ロータリー全体のブランドと地域インパクトを高められます。既存クラブは支援と連携を通じて新たな価値を共創できます。

今年度から定期開催されているガバナー主催のクラブサポートミーティングは、単なる報告会ではなく戦略的支援の場として活用してください。ガバナーや地域リーダーには次の役割を期待します。

- 戦略提案者：クラブごとの3年目標設計を支援する。
- 調整者：地域内のリソースや成功事例を結びつける。
- 伴走者：実行段階での課題解決を共に行う。

数字は重要ですが、数字を生むための「仕組みづくり」と「人の巻き込み」がより重要です。ガバナーや地域リーダーの戦略的な関与が、クラブの自律的な成長を促します。

クラブサポートミーティングは、地域とクラブが互いに学び合い、実行力を高めるための貴重な機会です。まずはベースラインの整理と3年目標(3-Year Rolling Goals)の共有をお願いします。必要であれば私が説明会に伺い、実務的な支援を行います。皆さまのご協力と積極的な参加を心よりお願い申し上げます。



第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 長戸 はるみ（横浜東 RC）

ポリオ根絶活動に多大なご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

ロータリーの友 2月号に「参加して良かったポリオ根絶活動」との特集がロータリー公共イメージコーディネーターと共同特別企画として掲載されました。全国から届いたポリオ根絶関連の投稿の中、当地区の亀ヶ谷純子さん（横浜港北RC）の手記が取り上げられています。亀ヶ谷さんはロータリーの友 地区代表委員としてもご活躍され、2017年以来インドにおける4回のワクチン投与活動に続き、現在はパキスタンでの活動に毎年参加されています。「参加して良かったポリオ根絶活動」と冒頭に掲げ、「チームポリオジャパン（任意団体）」に参加し、忘れられない出会いに感謝します。」と述べられています。



亀ヶ谷さんのご体験から特にパキスタンのポリオワーカーであるフーマさんのことをご紹介致します。先の記事にフーマさんと亀ヶ谷さんご一緒に写真が掲載されています。彼女は仕事中に列車事故に遭い、不幸にも両足を失いました。写真では義足を装着して車椅子に座っていますが、それでもなおポリオワーカーやポリオ根絶活動に復帰したいとの固い意志をお持ちです。フーマさんが義足を用い、日常生活を一日でも早く取り戻せるよう私も願って止みません。

チームポリオジャパン事務局の永田雄治さん（West Jordan RC）に依れば、彼女を日本に招いての診察と義足の提供、リハビリを経て、再びヘルスワーカーとして復帰するための計画が目下進行中とのこと。お母様とご一緒にの来日になるそうですので、是非皆様からのご支援をお願い申し上げます。入院と診療はチームメンバーの前田直俊さん（坂出東 RC/整形外科医）が奉仕、病院費用や義足はチーム内でカンパを集め、ポリオワーカー復帰に向けたフーマさんの夢を共有し、力強く後押しする輪が始まりました。

他に当地区の中川俊彦さん（横浜西 RC）と、今回初めて谷川公一さん（横浜西 RC）がパキスタンでのポリオ投与活動に参加されました。

谷川 GN は「ポリオ投与活動とは別に展開されている『水』の確保に関する支援と組み合わせることで、現地の理解と信用を得て行く手法は手堅い効果を期待できる。また現地、約 23 万人のポリオワーカーに要する人件費からも、ポリオ根絶がいかに大きな国際事業であるのかを改めて実感させられた。」と仰います。

ポリオ根絶の趣旨を理解し、ポリオ月間に限らず支え続ける意義をロータリー会員は忘れないでください。引き続きパキスタンとアフガニスタンでのポリオ根絶活動に更なるご支援とご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。



ロータリーにおける公共イメージ向上とブランドリソースセンターの活用

第3 地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 笹山 義弘（加治木 RC）

ロータリーの活動は、地域社会や世界に対して多くの価値ある奉仕を生み出しています。しかし、その活動が十分に知られていない場合、社会からの理解や共感、そして新しい仲間を得る機会を失ってしまう可能性があります。だからこそ、いま「公共イメージの向上」はロータリーにとって極めて重要なテーマとなっています。

公共イメージとは、単に広報を行うことではありません。ロータリーがどのような理念を持ち、どのような奉仕を行い、社会にどのような価値を提供しているのかを、分かりやすく、統一された形で社会に伝えていく取り組みです。これにより、地域社会の信頼と理解を高めるだけでなく、将来の会員となり得る人々にロータリーの魅力を伝えることにもつながります。

そのために重要となるのが、ロータリーのブランドを正しく理解し、統一感をもって発信することです。ロータリーは世界的な組織であり、国や地域が違っても共通の理念と価値観を共有しています。そのイメージを社会に対して一貫した形で発信することが、ロータリー全体の信頼性を高めることにつながります。



この取り組みを支える有効なツールが、My ROTARY 内にある「ブランドリソースセンター」です。ブランドリソースセンターには、ロータリーのロゴの正しい使用方法、ポスターやチラシ、SNS 用の画像素材、広報ツールなどが豊富に用意されています。これらを活用することで、各クラブが専門的なデザイン技術を持たなくても、ロータリーらしい統一された広報物を作成することが可能になります。例えば、例会案内、奉仕活動の告知、地域イベントへの参加案内などにブランドリソースセンターの素材を活用することで、視覚的にも「ロータリーらしさ」が伝わり、社会に対して信頼感のある発信ができます。また、SNS やホームページでの情報発信においても、ブランドの統一はロータリーの認知度向上に大きく寄与します。

ロータリー公共イメージコーディネーターおよび補佐としては、各クラブの皆様はこのブランドリソースセンターの活用を積極的に推進し、ロータリーのブランドを大切にされた情報発信を広げていきたいと考えています。具体的には、ブランド活用の理解を深めるための研修や資料提供、実際の広報物作成の支援などを通じて、クラブの広報活動をサポートしていくことが重要です。



ロータリーの価値ある活動を、社会に正しく、そして魅力的に伝えることは、未来のロータリーをつくる大切な一歩です。一人ひとりの会員が「ロータリーの顔」であるという意識を持ち、ブランドを意識した発信を行うことで、ロータリーの公共イメージはさらに高まり、地域社会とのつながりも一層強いものとなるでしょう。

今こそ、My ROTARY のブランドリソースセンターを活用し、クラブ全体でロータリーブランディングを推進していくことを提案いたします。



1 奨学生からロータリー会員へ — 二人の歩み —

奨学期間終了後、多方面で活躍する米山学友たちの中で、300人を超える米山学友がロータリー会員となっています。その中で、第2620地区富士宮RCに入会した青山チャリットさん（2006-08/静岡日本平RC）と、第2530地区いわき平RCに入会したソータイさん（2012-13/いわき平RC）のメッセージをご紹介します。

【青山チャリットさん】



奨学生時代、スリランカの子どもたちへの文房具贈呈プロジェクトを世話クラブの皆さまと実現できた経験が私の原点です。この経験は、その後米山学

友会でスリランカ支援活動を続けることにもつながり、奨学生時代に蒔いていただいた「支援の種」がその後の活動へと広がっていることが嬉しいです。ロータリーに入会してからは、「地域や社会のために何ができるか」を常に考えるようになりました。視野も広がり、物事をより長期的・多角的に捉えるようになりました。日々の仕事や行動でも、「誠実さ」と「社会への貢献」を意識するようになったことが大きな変化です。

多くの方に支えられた経験を胸に、今度は自分が誰かを支える側として地域社会や社会課題の解決に取り組み、信頼されるロータリー会員へと成長していくことが今後の目標です。

【ソータイさん】



ロータリー会員の皆さまの卓話は、奨学生当時の私にとって貴重な学びの機会でした。それぞれの分野で活躍されながら社会や平和のために尽力されている姿

に深い尊敬の念を抱き、いつか自分もロータリーの一員になりたいと思うようになりました。その思いから、ロータリーへの入会を申し出ました。実際に入会できたことを大変光栄に思うとともに、人生の大きな夢の一つが叶ったと感じています。

これからはロータリー会員としての自覚と責任を持ち、地域社会への貢献に取り組んでいきたいと考えています。また、諸先輩方から多くを学びながら人とのご縁を大切に、これまでいただいたご支援への感謝を胸に、社会や地域、そして平和のために少しでも役に立てる存在になれるよう努力していきたいです。

2 寄付金速報 — やや回復傾向に —

前年同期比

-3.3%

普 +1.5% 特 -5.8%

2月末までの寄付金は前年同期と比べて3.3%減（普通寄付金:1.5%増、特別寄付金:5.8%減）、約3,460万円の減少となりました。

皆さまからの変わらぬ厚いご支援に深く感謝いたします。

来月以降は、新規米山奨学生に関する行事も増加してまいりますので、引き続き当事業へのご協力を賜りますようお願いいたします。

第2610地区米山学友会 20周年記念式典開催のご案内

- ◇2026年5月16日（土）13:30 開始予定
- ◇会場：金沢ニューグランドホテル 金扇
- ※17日に能登復興支援活動見学・視察開催予定

※申込期限は **4月30日（木）** まで※

詳細はこちら



3 地域の子ども食堂を支援 第2620地区米山学友会

2月21日、第2620地区米山学友会が山梨市の「こども食堂 風の子イートステイ」を訪問し、子ども食堂支援の寄付を行いました。米山学友3人を含む計5人が参加しました。

同学友会ではこれまで、スリランカやベトナムの子どもたちへの海外教育支援に取り組んできました。今年は日本の子どもたちにも貢献したいとの思いから、子ども食堂への支援を検討し、柳場文彦地区学友委員長の紹介で同施設を訪問。活動や運営への理解を深めたうえで支援を決定しました。その後、地区大会で募金活動を行い、集まった支援金で



炊事器具とお米を寄付しました。当日は施設スタッフによる活動紹介の後、同学友会の孫麗^{ソンレイ}会長（2012-14／大阪なにわRC）から熊谷朋子代表へ目録が贈呈されました。熊谷代表は、「子ども食

堂の活動は地域の支えによって成り立っており、このようなご支援は大変励みになります」と感謝を述べました。孫会長は「実際に施設を訪問し、子ども食堂が子どもたちの大切な居場所となっていることを実感しました。今後も地域とのつながりを大切にしながら、社会に貢献できる活動を続けていきたい」と語りました。

4 タイ米山学友会総会開催 新会長選出

2月21日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催され、米山学友とロータリー会員ら43人が参加しました。

総会は会長のペチニン ナレスさん（1994-96／越谷RC）の挨拶で始まり、活動報告、会計

報告が行われました。その後、次年度会長選挙が行われ、同学友会の設立に携わったインタラチット ヌンヌットさん（2006-07／横浜鶴見北RC）が会長となることが決定しました。

5 「温かな支えを力に、夢へ」奨学期間終了者インタビュー

米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一歩を踏み出す3月。今回は、張佳文^{チョウカブン}さん（2025-26／東京立川こぶしRC）に、米山奨学生として過ごした1年間を振り返っていただきました。

【張佳文さん】

例会に初めて参加したとき、皆さんが温かく接してくださり、拙い日本語にも丁寧に耳を傾けてくださいました。その経験から、いつか自分もこの場にふさわしい大人になりたいと思いました。印象に残っているのは、バーベキュー例会です。音楽を聴きながら食事を楽しみ、子どもたちと日本の遊びをしました。日本の方々

の日常の中に自然に入れたように感じた時間でした。ロータリー会員の皆さんとの交流を通して、人との関わり方や相手を尊重する姿勢の大切さを学びました。カウンセラーの横川みどりさんは、いつも親身に支えてくださり、日本での生活を支える心強い存在でした。

将来は、アジアから世界へ発信できるウエディングドレスや礼服のブランドをつくるのが夢です。卒業後は企業で経験を積み、夢を形にしていきたいと思っています。



モンゴル米山学友会 総会開催

■開催日時：5月5日（火）15:30～17:30（現地時間）

※オンライン 16:30～18:30（日本時間）

■会場：CONTINENTAL HOTEL

※申込期限は3月25日（水）まで※

詳細はこちら

